

競技注意事項

1. 2025 年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。

2. 招集について

(1) 招集時間

トラック競技	種目によって招集開始時間及び招集完了時間が異なるので 裏表紙の競技時間表を参照のこと。
フィールド競技	

(2) 招集所は第 1 ゲート（ゴール側ゲート）外側に設ける。

(3) 招集後は、各自で競技場所に移動すること。（選手誘導は、ありません）

(4) 招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた者は出場を認めない。但し、同時刻に他種目に出場する場合は、その旨をあらかじめ招集所に申し出る。

(5) 電子機器類の競技場への持込を禁止する（携帯電話、ミュージックプレーヤー等）。招集所で持ち物をチェックする。

3. トラック競技予選は、全てタイムレースとする。また、男女 100m、男子 110m YH、男子 200m については A 決勝、B 決勝を行う。順序は A 決勝から行う。

4. トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

5. 跳躍競技のバーの上げ方

	練習			開始				
<男子走高跳>	1.50	1.65	1.80	1.55	1.60	1.65	1.70	以後 3 cm
<女子走高跳>	1.30	1.45	1.55	1.35	1.40	1.45		以後 3 cm
<男子棒高跳>	3.00	3.50	4.00	3.00	3.20	3.40	3.60 3.80	以後 10 cm

練習の高さは状況に応じて審判長が判断する

1 位決定のためのバーの上下

<走高跳>	2cm	<棒高跳>	5cm
-------	-----	-------	-----

6. フィールド計測ライン

	男 子	女 子
走 幅 跳	5m40	4m50
砲 丸 投	9m00	9m50

7. スパイクのピンは、全天候性走路のため 9 mm 以下(走高跳は 12mm 以下)のピンを使用のこと。

8. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

9. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- メインストレートへの走り込みは禁止する。
- 1レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 2～3レーンは、流し等の専用とする。
- 4～6レーンはスタートダッシュ専用とする。
- 7～8レーンはハードル専用とする。
- 走幅跳の練習は競技ピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- 走路を横切らない。
- その他審判員の指示に従う。

10. その他

- 競技場及びベンチとして使用したところは汚さないように気をつける。
- 競技場、競技場周辺の住民にも、迷惑をかけないようにゴミ等は、各自家まで持ち帰ること。
- 持ち物の管理は各自で責任を持つ。
- 競技場周辺及び補助競技場における投てき練習は禁止する。
- 全国大会への申し込みは本日中に済ませること。